



学校だより

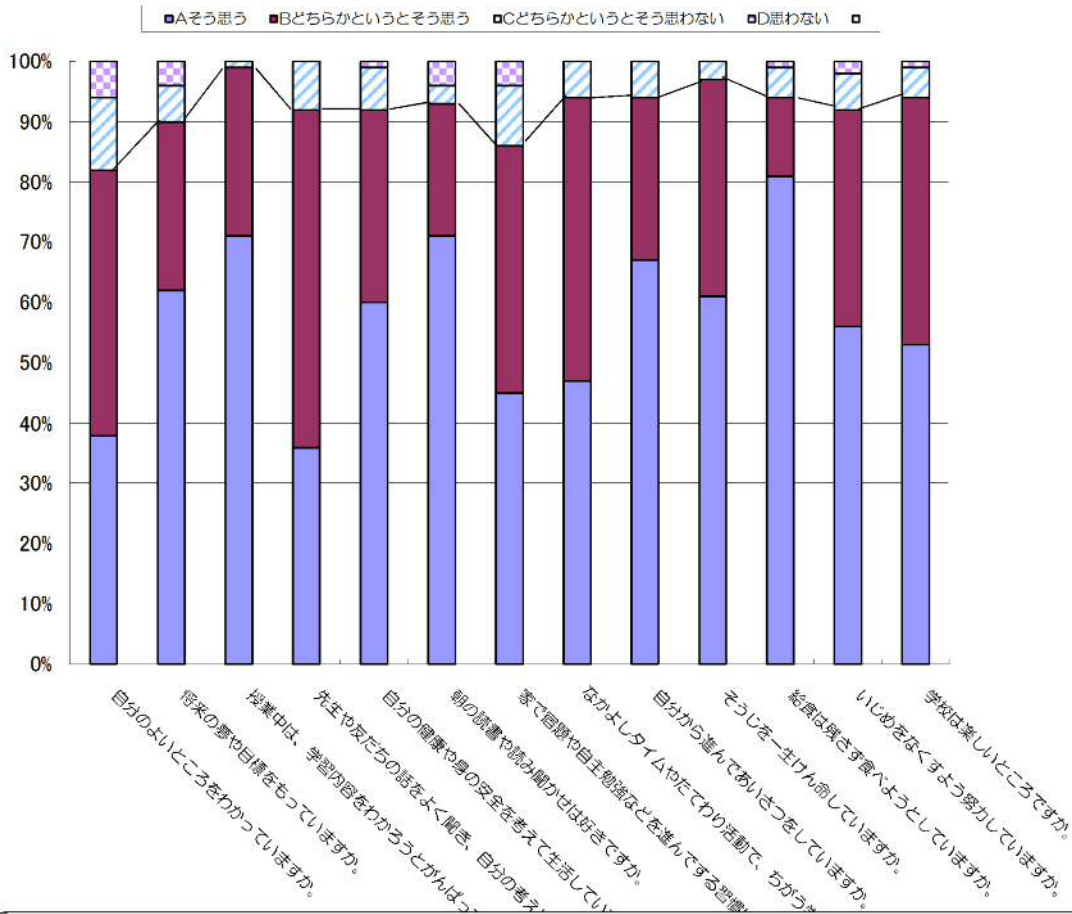
平成 27 年 1 月 13 日

四日市市立小山田小学校

*** 児童・保護者アンケートの集計結果です。 ***

平成26年度 児童アンケート（456年）

平成27年1月8日



考察

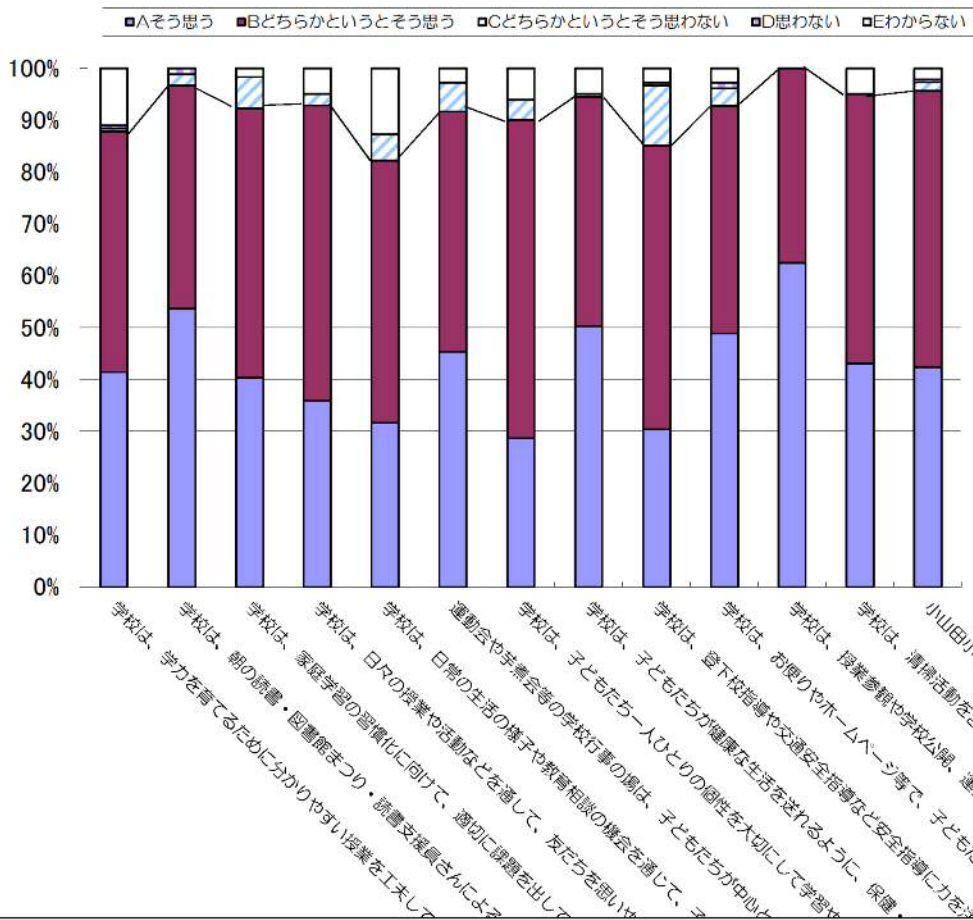
「学校は楽しいところ」については、ほとんどが肯定的ですが、子どもたちの6%が友だち関係のことで悩んでいます。昨年度の2%より増えています。

学校では子どもたちの変化に敏感になることを心がけており、日常の子どもたちの表情や様子を観察しています。教育相談の時間には、子どもたち一人ひとりの気持ちを聞いて心の安定を図っています。また、授業や学級活動を通してお互いが尊重し合う学級づくりを意識して取り組んでいます。

「先生や友だちの話をよく聞き、自分の考えや思いを話している」は、子どもたちの92%が肯定的に回答しています。昨年度の78%と比べてかなり向上しています。将来、自己を表現する力や対話する力として重要な力です。「自分のよいところ」として意識させて自信を持たせ、自尊感情につなげたいと思います。

「学習内容をわかってがんばっている」「自分の健康や身の安全を考えて生活している」「朝の読書や読み聞かせが好き」「なかよしタイムでの協力」「進んであいさつ」「そうじを一生懸命している」「いじめをなくすよう努力している」の項目も、肯定的に回答している割合が高いです。

3学期は、「自分のよいところをわかっている」、「家で宿題や自主勉強などを進んでする習慣」の自己評価を高めることを重点的に取り組みたいと思います。（文責 鳥羽）



考察

昨年度に引き続き、保護者アンケート「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見を多くいただき、学校を温かく見守っていただいていることを改めて感じました。

「学校は、日常生活の様子や教育相談の機会を通して、子どもたちの思いをつかまようとしている。」の設問は、82%が肯定的な評価でした。昨年度と同じ設問の72%から評価が向上しました。

保護者より、「小山田小学校は子どもの心をしっかりとみてくれると思います。トラブルがあっても、しっかりと解決の方向へ指導してくれます。勉強も頑張る気持ち、人との関わりを教えてくださいたいです。」と暖かい意見をいただきました。子どもたちの話を聞き取ったり、担任が家庭訪問して保護者との意思疎通を図ったりしていることが評価されたようで、とてもうれしく感じます。今後の教職員の励みとなります。

「学校は、学力を育てるために分かりやすい授業を工夫している。」の設問は、「わからない」が10%の評価でした。子どもたちが一生懸命学習したり、勉強を楽しんでいる様子があれば、評価していただいても良いかと思えます。

保護者より、「子どもの学力の底上げに必死でとりくんでくださっている先生の宿題の内容はこちらにもすぐく伝わります。先生のおかげで子どもは勉強のくせがつき、大量の宿題をこなせるようになりました。たいへんありがたく思っています。」という意見をいただきました。

家庭学習について、学校で学んだことをその日のうちに家で復習することで、学んだ内容の記憶や定着がより一層深まることと言われています。子どもたちが、自分からわかろうと努力する機会やわかる喜びを実感する機会を積み重ねていくことで、自分自身にやればできる自信が付き、自尊感情が高まります。児童アンケートの「自分の良さ」の自己評価を高めることが学校の課題です。

「学校は、授業参観や学校公開、運動会や芋煮会等の学習発表で子どもたちの様子を見てもらう機会を設けている。」はグラフの通りです。保護者より、「小山田は人間関係が希薄になる昨今では珍しいほどの保護者の協力が得られる地域です。この校風、地域性を大切にされた学校運営を望みます。」と、「芋煮会」や学年行事などへの意見をいただきました。今後のPTA本部や学校づくり協力者会議の場でも検討課題としたいと思えます。

(文責 鳥羽)